

ぼうけんの森



自然が好きな子どもに

運営協議会委員 櫻井 順一

「先生、セミに触れるんですか。」これは、教育実習のために講義をしている時の大学生の言葉です。教室には、五十名くらいの学生がいました。窓から入ってきたミンミンゼミが、教室の真ん中にいる男子学生の服にとまったのです。声を発するものの体が動きません。周りの誰も助けようとしません。仕方がないので、私がセミを捕まえて逃がしてやりました。学生達は、子どもの頃にセミ捕りをしなかったのでしょうか。

かつて平成になり生活科が始まった頃、よく言われたのが「山が近くにあるのに、子ども達は山のことを知らない。」という言葉です。「山」を「自然」と置き換えることもできます。自然体験が、日常のものから特別なものになってしまったのです。あれから三十数年たちました。今の子ども達は、もっと自然と離れてしまっているのではないのでしょうか。小さい頃からネット社会が身近にあり、スマホやタブレットに夢中になっていられると言われています。子ども達の大好きなゲームも、オンラインで対戦するのが日常的になり、友達と一緒にいることすら必要ありません。学校での自然体験も減っています。学習内容の増加により行事等が縮小され、遠足や登山などの行事は、ほとんど聞かれなくなりました。自然の家の活動でも、白鷹山登山をする学校は、減ってきているということです。また、学校で飼われていたウサギやニトリなどの飼育動物も見かけなくなりました。

レイチェル・カーソン著の『センスオブワンダー』には、次のような一節があります。『知る』ことは『感じる』ことの半分も重要ではない。この言葉は、感性を育むことの重要性を教えてくれています。感性は、体験・活動の中で育まれます。自然との関わり、友達との関わりが、感性を豊かに育みます。自然体験や直接体験が減っている今という時代だからこそ、自然の家での体験・活動は、これからますます貴重なものとなっていくことでしょう。ぜひ、自然が好きになるきっかけを子ども達に作ってほしいと思います。

秋

の周辺の自然を味わう

R4 10/1

in 白鷹山



すがすがしい秋晴れの中、生物を観察したり、景色を堪能したいしながら、白鷹山登山を楽しみました♪

今回の登山道は、新設した「椿沼コース」で、ミスバショウの群生地である椿沼を通ります。ユキツバキの実のほか、季節外れの花も見ることができ、秋の自然を思う存分味わう一日となりました。



親子 そば打ち道

R4 10/30

3年ぶりの開催となった親子そば打ち道場。講師の方から教えていただきながら、そば粉をこねて、のばして、切るところまで、親子で力を合わせて挑戦しました☆



食堂のかき揚げと一緒に、自分たちで打ったそばを美味しく食べることができました♪



自然の家では、「少年団」等の小中学生対象の事業だけではなく、大人の方やご家族で楽しめるような事業も実施しています！
来年度も皆様のご参加をお待ちしています☆



今年度新規事業

家族でキャンプ体験

R4 ①6/18~19 ②6/25~26 ③10/8~9



家族で協力してテントを立てたり、炊飯を
したり、楽しくキャンプ体験をしました！



炊飯活動



夜には、キャンプファイヤーを
行いました！！



初心者歓迎！ 自然の家所長杯モルック大会

R4 7/30、31

大会1日目優勝チーム

大会2日目優勝チーム



チーム名：シダックス再び



チーム名：白岩



山形県モルック協会
事務局長 藤巻 正之 氏

モルックは、フィンランド・カレリア地方の伝統的な kyykkä というゲームを元に、1996年に開発されました。2008年に現日本モルック協会代表理事ハツ賀秀一氏と、現山形県モルック協会会長高窪祐弥らが現地ではじめ、帰国後日本モルック協会を設立。時を置いて昨年12月に山形県モルック協会を設立しました。全国4番目という設立で、山形県はモルック先進県と言えます。

この度、山形市少年自然の家にて「少年自然の家所長杯モルック大会」の企画運営に参画致しました。7月末に2日間開催しましたが、なんと初日は「初モルック」のチームが優勝するという驚きの結果となりました。

大会には小学生からお年寄りまで、まさに老若男女に参加頂きました。子どもの部・青年の部・壮年の部を設けず、一同が同じレギュレーションで試合をするのもモルックの特徴です。

幼児・小学生から中高大学生、成人からお年寄り、障がいのある方も、誰もが一緒に簡単にできるスポーツ。それがモルックです。県モルック協会では県内各地で体験会を開催しております。興味のある方はホームページやツイッターをご覧ください。

今大会は2日間の開催でした！
来年度もみなさんのご参加、お待ちしております！



第36期 少年団 活動のあしあと

第1回テーマ

団



- ・ 結団式
- ・ ペンダントづくり
- ・ アイスブレイク
- ・ 自然の家まるごと体験
オリエンテーリング



第2回テーマ

火

- ・ 原始の火起こし
- ・ トーチづくり
- ・ キャンプファイヤー
- ・ 炊飯活動2回（簡単カレー・ハンバーグ&パスタ）



第3回テーマ

水



- ・ 竹 de 水鉄砲&そばちょこ作り
- ・ 炊飯活動（そうめん）
- ・ ウォーターミッションめぐり
- ・ いかだアドベンチャー



第4回テーマ

山



- ・ 東黒森山ウォークラリー
- ・ モルック、ポッチャ体験

第6・7回テーマ

雪

- ・ 雪 de テーブルセットづくり&ティータイム
- ・ ウィンターRPG ・ スノーランタンづくり
- ・ ナイトチューブ ・ ラングラウフスキー



第5回テーマ

恵



- ・ 草木染め ・ プラネタリウム
- ・ 炊飯活動（栗ご飯&芋煮）



少年団の経験を「自信」に 第26期少年団 卒団 ・ 現ボランティアスタッフ

東北文教大学 人間関係学科 2年 小林 勇輝（こばやん）

大学二年生となった今、ボランティアスタッフとしてこの自然の家に戻ってきました。そこには十年前と変わらぬ風景がありました。そして、少年団員として過ごした当時の思い出も一緒によみがえってきました。十年経っても当時の記憶が瞬時に思い出されるのは、それだけ私にとって少年団活動の印象が大きかったからでしょう。いつ、だれと、何をして楽しかった、などといった詳細な記憶まで、その場所に行くと思い出します。

私にとって少年団は、今の私の原点であり、自分が変わるきっかけとなった存在でした。少年団に入る前は、極度の人見知りで友達もできず、人に挨拶も出来ませんでした。担任の先生や両親は、随分心配したそうです。そのような私も、この少年団で豊かな自然や様々な人と関わる経験を重ねることで、自分に自信がつき、大きく成長することができました。

第36期少年団の皆さん。卒団はゴールではなくスタート地点です。これから楽しいことだけでなく、大変なこともあるでしょう。そんな時は、仲間と協力する大切さ、諦めない心、何事にもチャレンジする姿勢など、少年団で得た経験や培った力を生かし、自信をもって前進してください。少年団の先輩として、皆さんのことをこれからもずっと応援しています。そして、より成長した姿で自然の家に戻って来てくださいね！卒団おめでとう！

美味しい！ 楽しい！炊飯活動

ダッチオーブン料理



今年度も大活躍のダッチオーブン！
ピザ・焼きそば・栗ご飯など様々な料理を
作ることができました！



ホットサンドメーカー



マフィンが
おいしく
焼けました。

レジャーかまど



今年度から新しく「レジャーかまど」が仲間入り！
手軽に持ち運びができ、炊飯活動の幅が広がりました！

令和5年度『主催事業』の予定

市内から集まる同じメンバーで
1泊2日の研修を年7回実施

「主体性」「人とかかわる力」
「リーダー性」が高まります

第37期 少年団

【期 日】 ①6/3(土)4(日) ②7/1(土)2(日) ③8/5(土)6(日) ④9/23(土)24(日) ⑤10/21(土)22(日) ⑥1/6(土)7(日) ⑦2/24(土)25(日)
 【定 員】 小学4年児童36名 ※できる限り7回の研修会に参加できる方に限ります。但し、土日が授業日の場合は「学校優先」になります。
 【活動内容】 季節に応じた魅力的な自然体験活動や少年団でしかできない貴重な協働体験活動を数多く企画します。
 【募集期間】 令和5年 3/1~4/21 [広報やまがた3/1号掲載](#)

※ コロナウイルス感染防止対策のため、内容を変更する場合があります。

親子ふれあい自然体験

【期 日】 ①5/20(土)・②5/27(土)
 ※①、②のどちらかを選択してください。
 【定 員】 小学1~3年児童の親子10組程度(各回)
 【内 容】 親子で自然散策・炊飯活動 など
 【募 集】 4/15~5/2 [広報やまがた4/15号掲載](#)



フラネタリウム一般公開 ①

【期 日】 5/21(日)
 【定 員】 一般市民 10家族程度
 【内 容】 春・夏の星座の話や宇宙の神秘を紹介します。
 【募 集】 4/15~5/2 [広報やまがた4/15号掲載](#)

わくわくキッズキャンプ ①・②

【期 日】 ①: 6/17(土)~18(日) 1泊2日
 ②: 6/24(土)~25(日) 1泊2日
 ※①、②のどちらかを選択してください。
 【定 員】 小学3, 4年児童 20名程度(各回)
 【内 容】 炊飯活動、キャンプファイヤー など
 【募 集】 5/1~6/1 [広報やまがた5/1号掲載](#)

わんぱくサマーキャンプ

【期 日】 7/22(土)~23(日) 1泊2日
 【定 員】 小学4年~中学3年 20名程度
 【内 容】 キャンプファイヤー、テント泊、炊飯活動、ナイトハイキング など
 【募 集】 6/15~7/5 [広報やまがた6/15号掲載](#)

森の昆虫見つけ隊

【期 日】 7/28(金)・7/29(土)・7/30(日)から選択
 【定 員】 小学3年~中学3年までの親子10組(各回)
 【内 容】 オニヤンマやトノサマバッタ等を採集し、その後、専門家より標本づくりを学びます。
 【募 集】 6/15~7/5 [広報やまがた6/15号掲載](#)

◆自然散策[一般の方向け]

【期 間】 4/22・10/1・11/27・2/24
[広報やまがた3/15・9/1・12/15・1/15号掲載](#)
 【対 象】 自然に興味のある一般の方々
 【内 容】 季節毎の周辺観察 等

◆ボランティアスタッフセミナー

【期 間】 5/6(土)~7(日)
 【対 象】 自然の家の事業に興味のある大学生
 【内 容】 ボランティアスタッフの役割(講義)
 ・施設見学
 ・実技研修 など

◆家族でキャンプ体験

【期 間】 ①6/17~18 ②6/24~25
 ③9/9~10 [広報やまがた5/1・8/1号掲載](#)
 【対 象】 キャンプ初心者の家族
 【内 容】 季節毎の周辺観察 等

秋

自然の家『秋祭り』

フラネタリウム一般公開 ②

【期 日】 9/3(日)
 【定 員】 どなたでも参加できます。
 【内 容】 フラネタリウム、クラフトコーナー、おいしい秋コーナー(芋煮、焼き芋)など
 【詳 細】 [広報やまがた8/15号掲載](#)

フラネタリウム一般公開 ③

【期 日】 10/28(土)
 【定 員】 一般市民 10家族程度
 【内 容】 生演奏を交えて、秋・冬の星座の話や宇宙の神秘を紹介します。夜の星空観察会も行います。
 【募 集】 9/15~10/5 [広報やまがた9/15号掲載](#)

親子そば打ち道場

【期 日】 10/29(日)
 【定 員】 中学3年までの親子 15組
 【内 容】 竹を使ったMy箸・Myそば猪口づくり、そば打ち、そば試食会 など
 【募 集】 9/15~10/10 [広報やまがた9/15号掲載](#)

わんぱくウインターキャンプ

【期 日】 12/23(土)~24(日) 1泊2日
 【定 員】 小学4年~中学2年 20名程度
 【内 容】 アイスブレイク、門松作り、雪上オリンピック、など
 【募 集】 11/1~12/1 [広報やまがた11/1号掲載](#)

わくわくキッズキャンプ ③

【期 日】 2/3(土)~4(日) 1泊2日
 【定 員】 小学3, 4年児童 20名程度
 【内 容】 自作そりづくり、ラングラウフスキー、手作りアイスクリーム など
 【募 集】 1/1~1/15 [広報やまがた1/1号掲載](#)

◆自然の家 ケレンデ OPEN

【期 間】 1/8(金)~2/29(木)
 【閉所日】 1/9(月)・2/12(月)・2/26(月)は休み
 【内 容】
 ・そり(各自持参ください)
 ・チューブ(無料貸出をします)
 ・スキー(各自持参・ロープ塔無料)
 ・ラングラウフスキー(小中学生無料)
 【詳 細】 [広報やまがた12/1号掲載](#)

ポト等
滑走禁止

指導者を対象とした「利用指導者講習会」

◆小中学校・幼稚園・保育園の先生方…夏期:4/14(金) 秋期:8/1(火) 冬期:12/1(金)

◆子ども会等の指導者の方々…5/28(日)

山形市少年自然の家 所報 第48号
 「ぼうけんの森」
 令和5年3月発行

住 所 〒990-0361 山形県東村山郡山辺町大字畑谷字板橋 3725
 電 話 【本館事務室】 023-643-8533 FAX 023-643-8574
 【サービスセンター】 023-643-8633

